

(1) 岡山大学

① 開講期間・試験期間・授業時間

開講期間	第1学期	2026年4月8日	～	2026年6月9日
	第2学期	2026年6月10日	～	2026年8月10日
	第3学期	2026年10月1日	～	2026年12月3日
	第4学期	2026年12月3日	～	2027年2月14日
試験期間	第1学期	2026年6月3日	～	2026年6月9日
	第2学期	2026年7月31日	～	2026年8月6日
	第3学期	2026年11月27日	～	2026年12月3日
	第4学期	2027年2月5日	～	2027年2月12日
授業時間	1限	8:40～9:30	7限	15:30～16:20
	2限	9:40～10:30	8限	16:30～17:20
	3限	10:45～11:35	9限	17:30～18:20
	4限	11:45～12:35	10限	18:30～19:20
	5限	13:25～14:15	※9、10限は授業の性質や時間割設定上やむを得ない場合に限り授業を行う。	
	6限	14:25～15:15		

※補講については、授業担当教員が指定した日に行う。

② アクセス(案内図)

津島キャンパスへ



バス
 岡電バス
 駅西口「47」系統
 (岡大西門経由岡山理科大) 行
 駅東口「17」系統(妙善寺) 行

JR 津山線「法界院」駅: 徒歩約10分
JR岡山駅→岡電バス

- 岡山駅運動公園口(西口)バスターミナル22番乗り場から【47】系統「岡山理科大学」行きに乗車「岡大入口」、「岡大西門」、「福居入口」又は「岡大東門」で下車(所要時間約7～10分)
- ※本線は時間帯により「岡大東門」には停車しない場合があります。なお、「岡大東門」へはキャンパス外周を回った後に到着します。
- 岡山駅後楽園口(東口)バスターミナル13番乗り場から【17】【67】系統「妙善寺」行きに乗車「岡大東門」、「岡大西門」又は「福居入口」で下車(所要時間約30分)
- 岡山駅後楽園口(東口)バスターミナル7番乗り場から【16】系統「津高台団地・半田山ハイツ」行き、【26】系統「岡山医療センター国立病院」行き、【36】系統「辛香口」行き、【86】系統「運転免許センター」行きに乗車「岡山大学筋」で下車 大学まで徒歩(所要時間 バス約10分、徒歩約7分)

タクシー 岡山駅運動公園口(西口)広場2階タクシー乗り場から 約7分

④ 開講大学から単位互換履修生への連絡事項

・ 履修申込期限

第1・2学期:4月1日(水)15時まで 第3・4学期:9月17日(木)15時まで
岡山大学学務部学務企画課での受付期限です。
所属大学によって定められている提出期間やその他の指示に従ってお申し込みください。
(申込期限は延長しません。)

・ 履修手続

対面授業科目を履修する方

1. 初回の授業(またはオリエンテーション)当日に以下の印刷物をお渡します。
※事前に所属大学の教務(単位互換担当)を通じて配布する場合があります。
対面授業科目の履修者は、必ず受け取りに来てください。
その際、講義室の場所を含め簡単な説明をしますので、時間に余裕を持って来学してください。
 - ①キャンパスマップ
 - ②単位互換履修生証
 - ③自動車通学許可申請書類(希望者のみ)
 - ④岡大ID・パスワード通知
 - ⑤その他 講義関係書類
2. 自動車・自動二輪車での通学は特殊事情がある場合に限り許可されます。
希望する場合は事前にお申し出ください。

遠隔授業科目を履修する方

所属大学の教務(単位互換担当)を通じて上記「①～⑤」の書類を配布します。

・ 施設利用

岡山大学在学の学生と同じ扱いとします。
岡山大学図書館・学食等が利用可能です。図書館の利用方法は図書館カウンターで単位互換履修生証と所属大学の学生証を提示してお尋ねください。

・ 岡山大学 学習支援システムMoodleについて

本学の多くの授業ではMoodleという学習支援システムを使用します。このシステムは主にレジュメ等の資料共有やレポート提出等で、また、遠隔授業では必ず利用します。単位互換履修生には、事前に、ログインに必要な「岡大ID・パスワード」、「Moodleの手引き」等をお渡しますので、必ず一読し、初回授業までにログイン等の手続きを終えておいてください。
(※詳細は申込完了後に別途連絡いたします。)

・ 今後の実施内容の変更について

やむを得ない事情により実施内容を一部変更する場合がありますので、その旨ご理解いただいたうえでお申し込みください。変更が生じた場合は、申込後に所属大学の単位互換事務担当者を通じて連絡いたします。

⑤ 各科目のシラバス

大学ホームページ シラバス掲載URL

シラバスは本募集要項に掲載していますが、以下から検索することもできます。

https://www.okayama-u.ac.jp/tp/student/syllabus_link.html

(岡山大学HP→在学生・保護者の方→シラバス→岡山大学開講科目)

2026(令和8)年度 岡山大学授業日程計画

※ 他の曜日の授業を行う日 がありますので注意してください。

月	曜日							備 考	月	曜日							備 考
	日	月	火	水	木	金	土			日	月	火	水	木	金	土	
4 月				1	2	3	4	2日 入学式 8日 第1学期授業開始 29日 昭和の日	10 月					1	2	3	1日 第3学期開始 1日 秋季入学者入学式 12日 スポーツの日 10月30日～ 大学祭 11月2日 ※10/30,11/2臨時休業
	5	6	7	8	9	10	11			4	5	6	7	8	9	10	
	12	13	14	15	16	17	18			11	12	13	14	15	16	17	
	19	20	21	22	23	24	25			18	19	20	21	22	23	24	
	26	27	28	29	30					25	26	27	28	29	30	31	
5 月						1	2	注:7日 火曜日の授業を行う 注:8日 水曜日の授業を行う 3日 憲法記念日 4日 みどりの日 5日 こどもの日 6日 振替休日	11 月	1	2	3	4	5	6	7	3日 文化の日 注:4日 月曜日の授業を行う 注:19日 月曜日の授業を行う 23日 勤労感謝の日
	3	4	5	6	7	8	9			8	9	10	11	12	13	14	
	10	11	12	13	14	15	16			15	16	17	18	19	20	21	
	17	18	19	20	21	22	23			22	23	24	25	26	27	28	
	24	25	26	27	28	29	30			29	30						
	31																
6 月		1	2	3	4	5	6	10日 第2学期開始 30日 卒業日	12 月			1	2	3	4	5	4日 第4学期開始 25日～1月4日 冬季休業 27日 卒業日
	7	8	9	10	11	12	13			6	7	8	9	10	11	12	
	14	15	16	17	18	19	20			13	14	15	16	17	18	19	
	21	22	23	24	25	26	27			20	21	22	23	24	25	26	
	28	29	30							27	28	29	30	31			
7 月				1	2	3	4	20日 海の日 注:22日 月曜日の授業を行う	1 月						1	2	1日 元日 11日 成人の日 注:12日 月曜日の授業を行う 注:13日 金曜日の授業を行う 15日 共通テスト実施に伴う臨時休講 16,17日 大学入学共通テスト
	5	6	7	8	9	10	11			3	4	5	6	7	8	9	
	12	13	14	15	16	17	18			10	11	12	13	14	15	16	
	19	20	21	22	23	24	25			17	18	19	20	21	22	23	
	26	27	28	29	30	31				24	25	26	27	28	29	30	
8 月							1	7～9日(予定) オープンキャンパス 11日 山の日	2 月		1	2	3	4	5	6	注:5日 木曜日の授業(試験)を行う 11日 建国記念の日 23日 天皇誕生日 25,26日 一般選抜(前期日程)
	2	3	4	5	6	7	8			7	8	9	10	11	12	13	
	9	10	11	12	13	14	15			14	15	16	17	18	19	20	
	16	17	18	19	20	21	22			21	22	23	24	25	26	27	
	23	24	25	26	27	28	29			28							
	30	31															
9 月			1	2	3	4	5	21日 敬老の日 22日 国民の休日 23日 秋分の日 25日 学位記等授与式	3 月		1	2	3	4	5	6	21日 春分の日 22日 振替休日 25日 学位記等授与式
	6	7	8	9	10	11	12			7	8	9	10	11	12	13	
	13	14	15	16	17	18	19			14	15	16	17	18	19	20	
	20	21	22	23	24	25	26			21	22	23	24	25	26	27	
	27	28	29	30						28	29	30	31				
第1学期計	8	8	8	8	8			授業週数(含試験)	第3学期計	8	8	8	8	8		授業週数(含試験)	
第2学期計	8	8	8	8	8				第4学期計	8	8	8	8	8			

- 第1学期 4月1日～6月9日
- 第2学期 6月10日～8月10日
- 第3学期 10月1日～12月3日
- 第4学期 12月4日～2月14日
- 試験期間

休業日及び臨時休講を示す。
 他の曜日の授業を行う日を示す。
 気象警報等により休講とした場合の補講日を示す。
 ※補講については、授業担当教員が指定した日に行う。

・遠隔授業科目

遠隔授業(オンライン:文学部)				01101
授業科目名: 人文学概説(美学a)			担当教員氏名: 川野 恵子	
Introduction to Aesthetics a				
履修年次 2~4	1 単位	第 1 学期	1 コマ	50 分×2(火曜 3・4 限)
<p>【授業の目的】 西洋美学の歴史を古代から近代にかけて学んでいく授業です。なかでも諸芸術比較論に焦点をあて、諸芸術間のヒエラルキーの変化と連動して、学問としての「美学」が生まれ、展開していく歴史を概観します。諸芸術比較論は、美学が誕生する以前から西洋において古代から連綿と議論されてきた伝統的テーマです。ただしとりわけ 18 世紀以前は「諸芸術比較論」といっても事実上、詩を上位とする絵画との比較論、言い換えれば、テキストとイメージのヒエラルキー論として論じられてきました。それが学問としての美学の誕生する 18 世紀頃に大きく変化し、テキストとイメージのヒエラルキーが転覆し、さらにはイメージとイメージを比較する文字通りの諸芸術比較論が論じられるようになります。この諸芸術比較論の変化の理解を西洋美学の誕生とその展開の理解につなげ、西洋美学史を学ぶことがこの授業の目的です。美学 a においては古代から近世まで、美学 b においては近世から近代までを扱います。</p>				
<p>【授業内容】 美学 a(1 学期)においては、「美学」成立前、古代からルネサンスの美学的理論を扱い、詩を上位とする諸芸術のヒエラルキー／位階概念の成立経緯を学ぶ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ガイダンス 2 プラトン 3 アリストテレス 4 プロティノス 5 アウグスティヌス 6 トマス・アキナス 7 ダ・ヴィンチ 8 まとめ 				
<p>【テキスト】 教科書は使用しない。授業中にレジュメを配布する。</p>				
<p>【参考図書】 カロル・タロン=ユゴン『美学への手引き』上村博訳、白水社、2015 年 小田部胤久『西洋美学史』東京大学出版会、2009 年 井奥陽子『近代美学入門』筑摩書房、2023 年 佐々木健一『美学辞典』東京大学出版会、1995 年</p>				
<p>【成績評価の方法】 平常点(授業内発表)30% 授業後のレポート 70%</p>				
<p>【受講要件】 なし</p>				

遠隔授業(オンライン:文学部)				01102
授業科目名: 人文学概説(美学b)			担当教員氏名: 川野 恵子	
Introduction to Aesthetics b				
履修年次 2~4	1 単位	第 2 学期	1 コマ	50 分×2(火曜 3・4 限)
<p>【授業の目的】 西洋美学の歴史を古代から近代にかけて学んでいく授業です。なかでも諸芸術比較論に焦点をあて、諸芸術間のヒエラルキーの変化と連動して、学問としての「美学」が生まれ、展開していく歴史を概観します。諸芸術比較論は、美学が誕生する以前から西洋において古代から連綿と議論されてきた伝統的テーマです。ただしとりわけ 18 世紀以前は「諸芸術比較論」といっても事実上、詩を上位とする絵画との比較論、言い換えれば、テキストとイメージのヒエラルキー論として論じられてきました。それが学問としての美学の誕生する 18 世紀頃に大きく変化し、テキストとイメージのヒエラルキーが転覆し、さらにはイメージとイメージを比較する文字通りの諸芸術比較論が論じられるようになります。この諸芸術比較論の変化の理解を西洋美学の誕生とその展開の理解につなげ、西洋美学史を学ぶことがこの授業の目的です。美学 a においては古代から近世まで、美学 b においては近世から近代までを扱います。</p>				
<p>【授業内容】 美学 b(2 学期)においては、「美学」成立を可能にした哲学的背景を抑えながら、諸芸術のヒエラルキーがいかに転覆し、今日にも通じる美学・芸術学概念が成立したのか学ぶ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ガイダンス 2 バトウ、デュボス 3 レッティング 4 デイドロ 5 ライプニッツ 6 バウムガルテン 7 カント 8 まとめ 				
<p>【テキスト】 教科書は使用しない。授業中にレジュメを配布する。</p>				
<p>【参考図書】 カロール・タロン=ユゴン『美学への手引き』上村博訳、白水社、2015 年 小田部胤久『西洋美学史』東京大学出版会、2009 年 井奥陽子『近代美学入門』筑摩書房、2023 年 佐々木健一『美学辞典』東京大学出版会、1995 年</p>				
<p>【成績評価の方法】 平常点(授業内発表)30% 授業後のレポート 70%</p>				
<p>【受講要件】 なし</p>				

遠隔授業(ハイブリッド:文学部)				01103	
授業科目名: 人文学概説(倫理学 2b)			担当教員氏名: 本村 昌文		
Introduction to Ethics 2b			対面とオンデマンドのハイブリッド		
履修年次 2~4	1単位	第4学期	1コマ	50分×2(月曜7・8限)	
<p>【授業の目的】 一般目標: 日本思想史研究の視座と方法を説明することができる。 個別目標: 1. 朱子学, 陽明学の基本的な考え方を説明することができる。 2. 朱子学, 陽明学の日本における受容と展開について説明できる。</p>					
<p>【授業内容】 講義題目: 朱子学・陽明学と近世日本 日本における儒教の受容と展開を通して, 日本思想史を概観する。特に日本に大きな影響を与えた朱子学・陽明学を中心に講義を行う。</p> <p>1-2: ガイダンス 3-4: 「心」をいかにコントロールするか? - 朱子学の世界 5-6: 王陽明の挫折体験 - 陽明学の世界 7-8: 幕藩体制を支えたのは朱子学か? - 苦悩する林羅山, 「悪」の根源は何か? - 「心」の深淵をみつめる中江藤樹 9-10: 「闇斎が如キ者ハ、必皆天主教ニ帰スベキナリ」 - 敬虔な朱子学者・山崎闇斎とその門人 11-12: 人はみな聖人になれるか? - 荻生徂徠とその門人 13-14: 朱子学を批判する朱子学者 - 孤高の朱子学者・中井履軒と懐徳堂</p> <p>※この授業は、メディア授業です。対面授業、オンデマンド受講、いずれを選択してもかまいません。</p>					
<p>【テキスト】 特になし。随時、資料を配布します。moodle にアップするので、各自、授業の際にみられるようにしてください。</p>					
<p>【参考図書】 本村昌文『いまを生きる江戸思想 - 17世紀における仏教批判と死生観』(ペリカン社, 2016)。その他、授業中に指示する。</p>					
<p>【成績評価の方法】 授業での取り組み 60%, 最終レポート 40%</p>					
<p>【受講要件】 特になし</p>					

遠隔授業(オンデマンド:文学部)				01104
授業科目名: 人文学概説(西洋美術史a)			担当教員氏名: 龍野 有子	
Introduction to History of Western Art a				
履修年次 2~4	1 単位	第 1 学期	1 コマ	50 分×2(木曜 5・6 限)
<p>【授業の目的】 ヨーロッパ文化圏の美術(建築、彫刻、絵画、素描、版画、写真等)の主要な素材と技法について、各種の複製技法の問題を含めて概観する。ヨーロッパ文化圏の建築・彫刻・絵画・画像類の主要な素材と技法及び複製に関する問題について、基礎的な知識を獲得する。</p>				
<p>【授業内容】 第 1 回 はじめに:「人工物」としての美術作品 第 2 回 美術作品の制作と複製 第 3 回 建材・彫刻材としての石、土砂、木材 第 4 回 聖堂建築の展開 第 5 回 鑄造技法とブロンズ彫刻の複数性 第 6 回 陶器と陶像、陶器 第 7 回 絵画類の基本構造:基底材(支持体)と色材(絵具) 第 8 回 壁画の技法:フレスコとモザイク 第 9 回 板絵の領域:エンカウスティック、テンペラ、油彩 第 10 回 油彩技法の展開とカンヴァスの登場 第 11 回 中世装飾写本:紙が存在しなかった時代 第 12 回 紙とルネサンス:印刷術としての版画技法 第 13 回 写真術の開発前史:カメラオブスキュラ 第 14 回 写真術の発明</p>				
<p>【テキスト】 毎回 Moodle で資料を配付する。あらかじめ印刷した上で講義ビデオを視聴すること。</p>				
<p>【参考図書】 第一回目の授業中に詳細に紹介する。</p>				
<p>【成績評価の方法】 毎週 Moodle で小テストを課す(評点全体の 70%)。出題形式は選択式、穴埋め式など回により異なる。回答回数に制限を加えるので注意すること。回答期限は原則として次週の火曜 18:00 とし、締切後の回答は受け付けない。 別に期末レポートを課す(評点全体の 30%)。提出は Moodle で行う。課題は、「講義内容に関連する書籍を 2 冊以上通読し、講義全体の内容を踏まえた上で、自分が考えたことを具体的な作品に即して 2,000 字程度で述べなさい」とする。内容に即した表題を付し、冒頭に通読した書籍の書誌(著者名『書名』出版社、出版年)を明記すること。</p>				
<p>【受講要件】 ヨーロッパの美術と歴史の双方に関心を持っていること。</p>				

遠隔授業(オンデマンド:文学部)				01105	
授業科目名: 人文学概説(西洋美術史 b)			担当教員氏名: 龍野 有子		
Introduction to History of Western Art b					
履修年次 2~4	1 単位	第 2 学期	2 コマ	50 分×2(木曜 5・6 限)	
<p>【授業の目的】 ヨーロッパの彫刻及び絵画類の主要な主題とジャンルについて概観する。 ヨーロッパの彫刻及び絵画類の主要な主題とジャンルに関する基礎知識を獲得する。</p>					
<p>【授業内容】 01. はじめに 02. 「美術(史)」とは何(ではない)か 03. 「大芸術」という概念(1)職業美術家の社会的地位 04. 「大芸術」という概念(2)ルネサンス的な美術論の形成 05. 「大芸術」という概念(3)美術アカデミーの成立とアカデミックな芸術論の形成 06. 「宗教美術」という枠組み(1)「教会」と「教会堂」 07. 「宗教美術」という枠組み(2)礼拝対象としての彫像と画像 08. 「宗教美術」という枠組み(3)礼拝図像と物語図像 09. 「主題の序列」という思想(1)「歴史物語画」という枠組み 10. 「主題の序列」という思想(2)非宗教美術としての神話主題 11. 「主題の序列」という思想(3)肖像 12. 「主題の序列」という思想(4)風俗主題と人物像 13. 「主題の序列」という思想(5)風景表現と風景画 14. 「主題の序列」という思想(6)静物</p>					
<p>【テキスト】 毎回 Moodle で資料を配付する。あらかじめ印刷した上で講義ビデオを視聴すること。</p>					
<p>【参考図書】 第一回目の授業中に詳細に紹介する。</p>					
<p>【成績評価の方法】 毎週 Moodle で小テストを課す(評点全体の 70%)。出題形式は選択式、穴埋め式など回により異なる。回答回数に制限を加えるので注意すること。回答期限は原則として次週の火曜 18:00 とし、締切後の回答は受け付けない。 別に期末レポートを課す(評点全体の 30%)。提出は Moodle で行う。課題は、「講義内容に関連する書籍を 2 冊以上通読し、講義全体の内容を踏まえた上で、自分が考えたことを具体的な作品に即して 2,000 字程度で述べなさい」とする。内容に即した表題を付し、冒頭に通読した書籍の書誌(著者名『書名』出版社、出版年)を明記すること。</p>					
<p>【受講要件】 1 学期開講の人文学概説(西洋美術史 a)を受講済みであること。</p>					

遠隔授業(オンデマンド:文学部)				01106	
授業科目名: 人文学講義(西洋美術史 a)			担当教員氏名: 龍野 有子		
Lecture on History of Western Art a					
履修年次 2~4	1 単位	第 3 学期	2 コマ	50 分×2(木曜 5・6 限)	
<p>【授業の目的】 古典古代から近世までのヨーロッパ美術史について通史的に講ずる。ヨーロッパの造型芸術(建築・彫刻・絵画・工芸等)に対し、単に感覚的・情緒的・主観的に接近するのではなく、日本を含む東アジア文化圏で生育した者にとっては異文化圏であるヨーロッパ世界が生み出した歴史的な産物として、客観的に理解する視点を獲得する。</p>					
<p>【授業内容】 01. イントロダクション 02. ヨーロッパ美術史の時代区分 03. 古典古代(1)古代ギリシア美術 04. 古典古代(2)古代ローマ美術 05. キリスト教の発生 06. 初期キリスト教美術と初期ビザンティン美術 07. ビザンティン美術 08. 西欧初期中世美術、ロマネスク美術 09. ゴシック美術 10. 中世から近世へ:「中世の秋」と「古典復興」 11. 近世(1)ルネサンスと 15-16 世紀の美術(1)初期ルネサンスから盛期ルネサンスへ 12. 近世(2)ルネサンスと 15-16 世紀の美術(2)マニエリスムとロマンスム 13. 近世(3)バロックと 17 世紀の美術 14. 近世(4)ロココと 18 世紀の美術</p>					
<p>【テキスト】 毎回 Moodle で資料を配付する。あらかじめ印刷した上で講義ビデオを視聴すること</p>					
<p>【参考図書】 第一回目の授業中に詳細に紹介する。</p>					
<p>【成績評価の方法】 毎週 Moodle で小テストを課す(評点全体の 70%)。出題形式は選択式、穴埋め式など回により異なる。回答回数に制限を加えるので注意すること。回答期限は原則として次週の火曜 18:00 とし、締切後の回答は受け付けない。 別に期末レポートを課す(評点全体の 30%)。提出は Moodle で行う。課題は、「講義内容に関連する書籍を 2 冊以上通読し、講義全体の内容を踏まえた上で、自分が考えたことを具体的な作品に即して 2,000 字程度で述べなさい」とする。内容に即した表題を付し、冒頭に通読した書籍の書誌(著者名『書名』出版社、出版年)を明記すること。</p>					
<p>【受講要件】 1 学期開講の人文学概説(西洋美術史 a)、2 学期開講の人文学概説(西洋美術史 b)を受講済みであること。</p>					

遠隔授業(オンデマンド:文学部)				01107	
授業科目名: 人文学講義(西洋美術史b)			担当教員氏名: 龍野 有子		
Lecture on History of Western Art b					
履修年次 2~4	1 単位	第 4 学期	2 コマ	50 分×2(木曜 5・6 限)	
<p>【授業の目的】 18 世紀末から 20 世紀半ばまでのヨーロッパ絵画史の展開についてパリ画壇を中心に通史的に講ずる。近代ヨーロッパ絵画に対し、単に感覚的・情緒的・主観的に接近するのではなく、日本を含む東アジア文化圏で生育した者にとっては異文化圏であるヨーロッパ世界が生み出した歴史的な産物として、客観的に理解する視点を獲得する。</p>					
<p>【授業内容】 01. イントロダクション 02. 近代アカデミズムの形成(1)美術行政と美術市場 03. 近代アカデミズムの形成(2)基新古典主義とロマン主義 04. 前衛としてのレアリスム 05. 印象派と印象主義 06. ポスト印象主義、象徴主義と表現主義(1)印象主義に対する反発と反動 07. ポスト印象主義、象徴主義と表現主義(2)絵画の再定義の試み 08. キュビズム(1)「具象絵画」としてのキュビズム 09. キュビズム(2)キュビズムから非具象絵画へ 10. 未来派とダダ、構成主義 11. ダダからシュルレアリスムへ 12. シュルレアリスムと抽象美術(1)第二次大戦前夜の状況 13. シュルレアリスムと抽象美術(2)第二次大戦と抽象表現主義 14. モダニズムの終焉</p>					
<p>【テキスト】 毎回 Moodle で資料を配付する。あらかじめ印刷した上で講義ビデオを視聴すること。</p>					
<p>【参考図書】 第一回目の授業中に詳細に紹介する。</p>					
<p>【成績評価の方法】 毎週 Moodle で小テストを課す(評点全体の 70%)。出題形式は選択式、穴埋め式など回により異なる。回答回数に制限を加えるので注意すること。回答期限は原則として次週の火曜 18:00 とし、締切後の回答は受け付けない。 別に期末レポートを課す(評点全体の 30%)。提出は Moodle で行う。課題は、「講義内容に関連する書籍を 2 冊以上通読し、講義全体の内容を踏まえた上で、自分が考えたことを具体的な作品に即して 2,000 字程度で述べなさい」とする。内容に即した表題を付し、冒頭に通読した書籍の書誌(著者名『書名』出版社、出版年)を明記すること。</p>					
<p>【受講要件】 1 学期開講の人文学概説(西洋美術史 a)、2 学期開講の人文学概説(西洋美術史 b)、3 学期開講の人文学講義(西洋美術史 a)を受講済みであること。</p>					

遠隔授業(ハイブリッド:工学部)				01108	
授業科目名: セキュリティ概論			担当教員氏名: 野上 保之・福島 行信・ 五百旗頭 健吾・小寺 雄太・三浦 秀芳		
Introduction to Security					
履修年次 3~4年	2単位	第3・4学期	2コマ	50分×2(月曜7・8限)	
【授業の目的】 サイバーフィジカル・ネットワークに渡る情報セキュリティの重要性とそれを実現するための技術に関する深い理解を習得すること.					
【授業内容】 1. 暗号の歴史と概要 2. 暗号数学 3. 共通鍵暗号とデータ暗号化/公開鍵暗号と認証技術 4. 暗号計算のハードウェア実装 5. 暗号ハードウェアに対する工夫と安全性評価 6. 通信における様々な脅威と安全に通信するための暗号技術 7. データリンク層セキュリティ 8. ネットワーク層セキュリティ(1) 9. ネットワーク層セキュリティ(2) 10. トランスポート層セキュリティ 11. アプリケーション層セキュリティ 12. マルウェア感染と解析 (1) 13. マルウェア感染と解析 (2) 14. メモリ破棄攻撃と対策 (1) 15. メモリ破棄攻撃と対策 (2), アクセス制御 (100分の授業を1回としている)					
【テキスト】 Web やメールで資料を配布する.					
【参考図書】					
【成績評価の方法】 全15回のうち、5回区切りで小テストやレポート課題を課す。座学60%、テスト・課題40%で成績をつける。					
【受講要件】					

遠隔授業(オンデマンド:全学共通科目)				01109
授業科目名: キャンパスライフ不適應への対策講座			担当教員氏名: 原田 新・池谷 航介	
University Adjustment Seminar				
履修年次 1~4	1 単位	第 2 学期	2 コマ	50 分×2(受講曜日・時間は任意)
<p>【授業の目的】 高校までの学校段階とは異なり、大学では学業面を始め大学生活の様々な面で自主性や自己管理が求められる。特に大学に入学したばかりの1年生は、大学という新しい環境への適応に難しさを持つ場合が多い。本授業の目的は、大学生活の困難さ低減に役立つスキルの向上を促すことで、受講者の高大移行や大学生活の適応に寄与することである。</p>				
<p>【授業内容】 本授業では、大学生活で生じる問題や困難さを減らす上で役立つスキルの知識を学ぶと共に、自身で演習を行う。なお、本授業は、オンデマンド授業の形で実施する。毎週、授業の教材動画をアップするので、それを任意の時間に視聴してもらった上で、その週のうちに課題を提出してもらう予定である。</p> <p><授業計画></p> <p>1 週目: 大学生活で何に困りやすいのか 2 週目: 大学特有の社会常識 3 週目: 資源の活用(ICT 機器) 4 週目: 資源の活用(援助要請) 5 週目: 自己管理(時間管理、タスク管理) 6 週目: スモールステップ(雑談スキル) 7 週目: 悪質勧誘対策(アサーションスキル) 8 週目: 気持ちの切り替え</p>				
<p>【テキスト】 無し。毎回パワーポイントの資料を配布します。</p>				
<p>【参考図書】 適時、紹介します。</p>				
<p>【成績評価の方法】 レポート 44%、提出物 56%とし、総合評価を行う。</p>				
<p>【受講要件】 特に大学 1 年生で、入学後に大学生活の様々な面で困り感を抱えている方や大学生活に上手く馴染めていないという方を歓迎します。</p>				

・対面授業科目

対面授業(文学部)				01001
授業科目名: 人文学概説(哲学1)			担当教員氏名: 植村 玄輝	
Introduction to Philosophy 1				
履修年次 2~4	2単位	第1学期	1コマ	50分×4(金曜3・4・5・6限)
<p>【授業の目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・論証を分析し評価するための基礎スキルを手に入れる。 ・現代哲学の基本的な知識を獲得する。 ・哲学の文献を読む習慣を身に付ける。 				
<p>【授業内容】</p> <p>この授業では、現代哲学がどのような営みであるのかを、いくつかのトピックに話題を絞って概説する。毎回の授業では、表題として掲げられている問いについて、(1)それがいったいどのような問いなのか、(2)その問いへの回答になる立場にはどのようなものがあるのか、(3)その問いがなぜ興味深いのかを中心に解説する。したがってこの授業では、現代のさまざまな哲学者の思想を紹介するというよりも、個別の哲学の問題に対してどのような主張がなされているのか、それらの主張にどのような論証が与えられているのかをはっきりさせることに重点が置かれることになる。</p>				
<p>【スケジュール】</p> <p>第1回: イントロダクション／穴は回るのか？(1) 第2回: 穴は回るのか？(2) 第3回: 私たちは他人の心について知ることができるのか？(1) 第4回: 私たちは他人の心について知ることができるのか？(2) 第5回: 私たちは何を見ているのか？(1) 第6回: 私たちは何を見ているのか？(2) 第7回: 心を持つロボットを作ることはできるのか？(1) 第8回: 心を持つロボットを作ることはできるのか？(2) 第9回: 私たちは自由意志にもとづいて行為しているのか？(1) 第10回: 私たちは自由意志にもとづいて行為しているのか？(2) 第11回: 幸福とは何か？(1) 第12回: 幸福とは何か？(2) 第13回: ここまでの授業に関する Q&A 第14回: ここまでの授業に関する Q&A／まとめ</p>				
<p>【テキスト】</p> <p>特になし</p>				
<p>【参考図書】</p> <p>適宜紹介する。主要なものについては、岡山大学のシラバスで当授業を検索すれば見ることができる。</p>				
<p>【成績評価の方法】</p> <p>Moodle 上での小テスト(30%)および期末レポート(70%)で評価する。</p>				
<p>【受講要件】</p> <p>特になし</p>				

対面授業(教育学部)				01002	
授業科目名: 中等社会科・公民科指導法 I A			担当教員氏名: 桑原 敏典		
Secondary Social Studies (Civics) Teaching Methods I A					
履修年次 2~4	1 単位	第 2 学期	1コマ	50 分×2(火曜 7・8 限)	
<p>【授業の目的】 次の 3 点を講義の目標とする。 1. 中等教育段階における中等社会科・公民科と背景となる学問領域との関係を理解し、教材研究に活用できるようになる。 2. 中等教育段階における中等社会科・公民科の発展的な学習内容について探究し、学習指導への位置づけを考察することができる。 中等社会科・公民科指導法基礎の学びと、自らの学習者としての学びの経験に基づく「教える」という営みの意味を捉え直し、中等社会科・公民科の教科の特質と学習指導の意義を認識することを目的とする。</p>					
<p>【授業内容】 I. 中等社会科・公民科の目標の再考と授業デザインの方向性の確認 第1回 中等社会科教育の目標論の再考 第2回 公民科教育の目標論の再考 第3回 中等社会科・公民科学習指導論の展開(社会科探究学習論からの示唆) 第4回 中等社会科・公民科学習指導論の展開(社会科意思決定学習論からの示唆) II. 授業構想と模擬授業 第5回 中等社会科公民的分野政治学習の教材研究 第6回 中等社会科公民的分野政治学習の学習指導の構想 第7回 中等社会科公民的分野経済学習の教材研究 第8回 中等社会科公民的分野経済学習の学習指導の構想 第9回 公民科公共の教材研究 第10回 公民科公共の学習指導の構想 第11回 公民科倫理、政治・経済の教材研究 第12回 公民科倫理、政治・経済の学習指導の構想 III. 中等社会科・公民科学習指導論の構築 第13回 中等社会科学習指導論の構築 第14回 公民科学習指導論の構築 試験</p>					
<p>【テキスト】 ・『中学校学習指導要領解説 社会編』 ・『高等学校学習指導要領解説 公民編』</p>					
<p>【参考図書】 ・社会認識教育学会編『中学校社会科・高等学校公民科教育』学術図書出版、2020年。 ・森分孝治『社会科授業構成の理論と方法』明治図書、1978年。 ・渡部竜也『社会科授業づくりの理論と方法』明治図書、2020年。 ・桑原敏典編著『高校生のための主権者教育実践ハンドブック』明治図書、2017年。</p>					
<p>【成績評価の方法】 数回の課題提出と試験により総合的に評価する。</p>					
<p>【受講要件】 教員免許取得を目指していることが望ましい。 「中等社会科・公民科指導法基礎 A」を履修しておくことが望ましい。</p>					

対面授業(教育学部)				01003	
授業科目名: 中等社会科・公民科指導法ⅡA			担当教員氏名: 桑原 敏典		
Secondary Social Studies (Civics) Teaching Methods Ⅱ A					
履修年次 2~4	1単位	第4学期	1コマ	50分×2(火曜7・8限)	
<p>【授業の目的】 次の3点を講義の目標とする。 1. 一般的な中学校社会科・公民科授業の特徴と問題点を理解する。 2. 中学校社会科・公民科授業の分析視点と方法を理解する。 3. 様々な中学校社会科・公民科授業実践の分析を通して、それらの授業構成の理論と方法を把握する。</p>					
<p>【授業内容】 第1回: 公民科教育の歴史的変遷と現状 第2回: 公民科教育の課題 第3回: 学習指導要領中学校社会科・公民科の目標 第4回: 学習指導要領中学校社会科各分野・公民科各科目の目標 第5回: 学習指導要領中学校社会科・公民科の全体構造 第6回: 学習指導要領中学校社会科・公民科の内容 第7回: 学習指導要領公民科各科目の内容 第8回: 学習指導要領中学校社会科・公民科(公共)の指導上の留意点 第9回: 学習指導要領公民科(倫理)(政治・経済)の指導上の留意点 第10回: 中学校社会科の授業構成原理 第11回: 公民科の授業構成原理 第12回: 中学校社会科の授業分析 第13回: 公民科(公共)の授業分析 第14回: 公民科(倫理)の授業分析 第15回: 公民科(政治・経済)の授業分析 第16回: 試験</p>					
<p>【テキスト】 ・『中学校学習指導要領解説 社会編』 ・『高等学校学習指導要領解説 公民編』</p>					
<p>【参考図書】 ・社会認識教育学会編『中学校社会科・高等学校公民科教育』学術図書出版、2020年。 ・森分孝治『社会科授業構成の理論と方法』明治図書、1978年。 ・渡部竜也『社会科授業づくりの理論と方法』明治図書、2020年。</p>					
<p>【成績評価の方法】 数回の課題提出と試験により総合的に評価する。</p>					
<p>【受講要件】 教員免許取得を目指していることが望ましい。 「中等社会科・公民科指導法ⅠA」を履修しておくことが望ましい。</p>					

対面授業(教育学部)				01004	
授業科目名: GCED(グローバルシティズンシップ教育) I			担当教員氏名: 桑原 敏典		
GCED I					
履修年次 2~4	1単位	第3学期	1コマ	50分×2(月曜1・2限)	
<p>【授業の目的】 次の3点を講義の目標とする。 (1)グローバル・シティズンシップ教育のカリキュラムについて理解する。 (2)グローバル・シティズンシップ教育の学習指導と評価に関する基礎的な知識とスキルを身に付ける。 (3)グローバル・シティズンシップ教育の課題を理解する。</p>					
<p>【授業内容】 第1回 グローバル・シティズンシップ教育とは何か 第2回 日本の教育政策とグローバル・シティズンシップ教育 第3回 ユネスコにおけるグローバル・シティズンシップ教育普及の取り組み 第4回 ユネスコがめざすグローバル・シティズンシップ教育の実際 第5回 ヨーロッパのシティズンシップ教育カリキュラムの実際 第6回 ヨーロッパのシティズンシップ教育カリキュラムの分析 第7回 米国のシティズンシップ教育カリキュラムの実際 第8回 米国のシティズンシップ教育カリキュラムの分析 第9回 日本におけるシティズンシップ教育の導入 第10回 日本におけるシティズンシップ教育の展開 第11回 グローバル社会におけるシティズンシップ教育の特質 第12回 グローバル社会におけるシティズンシップ教育の課題 第13回 シティズンシップ教育の評価の方法 第14回 シティズンシップ教育の評価の課題 第15回 教師のためのグローバル・シティズンシップ教育 試験</p>					
<p>【テキスト】 テキストは用いない</p>					
<p>【参考図書】 ・社会認識教育学会編『中学校社会科・高等学校公民科教育』学術図書出版、2020年。 ・森分孝治『社会科授業構成の理論と方法』明治図書、1978年。 ・渡部竜也『社会科授業づくりの理論と方法』明治図書、2020年。 ・桑原敏典編著『高校生のための主権者教育実践ハンドブック』明治図書、2017年。</p>					
<p>【成績評価の方法】 数回の課題提出と試験により総合的に評価する。</p>					
<p>【受講要件】 教員免許取得を目指していることが望ましい。</p>					

対面授業(教育学部)				01005	
授業科目名: 中等社会科・公民科指導法基礎 A			担当教員氏名: 桑原 敏典		
Secondary Social Studies(Civics)Class Method Basic A					
履修年次 1~4	1 単位	第 4 学期	1コマ	50 分×2(火曜 3・4 限)	
<p>【授業の目的】 次の 3 点を講義の目標とする。 1. 一般的な社会科授業の特徴と問題点を理解する。 2. 探求としての社会科授業構成のねらいと方法を理解する。 3. 社会科授業分析や指導案作成のための基礎的な力を養う。</p>					
<p>【授業内容】 I. 中等社会科・公民科の目標の再考と授業デザインの方向性の確認 第1回 中等社会科教育の目標論の再考 第2回 公民科教育の目標論の再考 第3回 中等社会科・公民科学習指導論の展開(社会科探究学習論からの示唆) 第4回 中等社会科・公民科学習指導論の展開(社会科意思決定学習論からの示唆) II. 授業構想と模擬授業 第5回 中等社会科公民的分野政治学習の教材研究 第6回 中等社会科公民的分野政治学習の学習指導の構想 第7回 中等社会科公民的分野経済学習の教材研究 第8回 中等社会科公民的分野経済学習の学習指導の構想 第9回 公民科公共の教材研究 第10回 公民科公共の学習指導の構想 第11回 公民科倫理、政治・経済の教材研究 第12回 公民科倫理、政治・経済の学習指導の構想 III. 中等社会科・公民科学習指導論の構築 第13回 中等社会科学習指導論の構築 第14回 公民科学習指導論の構築 試験</p>					
<p>【テキスト】 ・『中学校学習指導要領解説 社会編』 ・『高等学校学習指導要領解説 公民編』</p>					
<p>【参考図書】 ・社会認識教育学会編『中学校社会科・高等学校公民科教育』学術図書出版、2020 年。 ・森分孝治『社会科授業構成の理論と方法』明治図書、1978 年。 ・渡部竜也『社会科授業づくりの理論と方法』明治図書、2020 年。 ・桑原敏典編著『高校生のための主権者教育実践ハンドブック』明治図書、2017 年。</p>					
<p>【成績評価の方法】 数回の課題提出と試験により総合的に評価する。</p>					
<p>【受講要件】 教員免許取得を目指していることが望ましい。</p>					

対面授業(法学部)				01006
授業科目名: 法哲学			担当教員氏名: 大森 秀臣	
Philosophy of Law				
履修年次 3~4	1 単位	第 3 学期	1 コマ	50 分×2(金曜 3・4 限)
<p>【授業の目的】 本講義は、「法とは何か」、「法的なものの考え方の特質とは何か」など、法の根源や全体像、法的思考にかかわる様々な問いについて解説する。大きな時代変革に対応する法的取り組みを構想するために、法哲学的な思考を身に着けることは不可欠である。この講義では、法への根源的な問いを考える能力や、法への多角的な視点を身につけることを目的とする。</p>				
<p>【授業内容】 第1回: ガイダンス 第2回: 法的思考の特質 第3回: 法とは何か—法＝強制説の諸問題 第4回: 法とは何か—二つの法体系論 第5回: 法規範—義務賦課規範と権能付与規範、裁決規範と行為規範 第6回: 法規範—ルールと原理 第7回: 法の妥当性—法学的妥当論と社会学的妥当論 第8回: 法の妥当性—心理学的妥当論と哲学的妥当論 第9回: 法と道德 第10回: 自然法論と法実証主義 第11回: 悪法問題 第12回: ハート対フラウー論争 第13回: 法による道德の強制 第14回: パターナリズム</p>				
<p>【テキスト】 とくに指定はしないが、以下の参考書を入手する方が望ましい。</p>				
<p>【参考図書】 ・瀧川裕英・宇佐美誠・大屋雄裕『法哲学』(有斐閣、二〇一四年) ・平野仁彦・亀本洋・服部高宏『法哲学』(有斐閣、二〇〇二年) ・酒匂一郎『法哲学講義』(成文堂、二〇一九年)</p>				
<p>【成績評価の方法】 期末試験(レポート)によって成績評価する。</p>				
<p>【受講要件】</p>				

対面授業(理学部)				01007
授業科目名: 基礎生物学1a			担当教員氏名: 齊藤 恭紀	
Basic Biology 1a				
履修年次 1~4	1単位	第1学期	1コマ	50分×2(火曜1・2限)
【授業の目的】 現代生物学が成り立つまでの重要な発見や考えを辿り、生物学史を概観する。				
【授業内容】 第1週 1. ガイダンス 2. 生命とは何か? 第2週 3. 生命の基本単位:「細胞」-1 4. 生命の基本単位:「細胞」-2 第3週 5. 遺伝子-1 6. 遺伝子-2 第4週 7. 自然淘汰による進化-1 8. 自然淘汰による進化-2 第5週 9. 生命体で発生する膨大な化学反応:「代謝」-1 10. 生命体で発生する膨大な化学反応:「代謝」-2 第6週 11. 情報としての生命-1 12. 情報としての生命-2 第7週 13. 生体膜と区画化-1 14. 生体膜と区画化-2 第8週 15. 期末テスト 16. 期末テスト				
【テキスト】 指定しない。				
【参考図書】 東京大学生命科学教科書編集委員会編「現代生命科学」羊土社(2021) ポール・ナース著、竹内薫訳「What is life? (ホワット・イズ・ライフ?): 生命とは何か」ヤモンド社(2021)				
【成績評価の方法】 出席、講義中の態度、毎回の簡単なレポート、期末テストの成績をもとに総合評価する。				
【受講要件】 高校時代に生物を履修していることが望ましい。				

対面授業(医学部保健学科)				01008
授業科目名: 医用画像検査機器工学			担当教員氏名: 木田 勝博	
Equipment Engineering for Medical Imaging				
履修年次 3	1 単位	第 1 学期	1 コマ	50 分×2(金曜 3・4 限)
<p>【授業の目的】 MRI は, 核磁気共鳴現象を利用して検出した生体信号をコンピュータ処理して画像を再構成する診断装置である。MRI 装置の理論, 原理, 構造について学ぶ。また, 超音波診断装置, 眼底写真装置の原理, 構成を学ぶ。</p>				
<p>【授業内容】 第 1 回;MRI の原理 第 2 回;MRI 装置 第 3 回;傾斜磁場 第 4 回;画像生成(k-space) 第 5 回;MRI 撮像法① 第 6 回;MRI 撮像法② 第 7 回;MRI の安全管理 第 8 回;MRI の品質管理 第 9 回;超音波の基礎 第 10 回;超音波装置の基礎 第 11 回;超音波の検出と画像表示 第 12 回;超音波画像のアーチファクト 第 13 回;眼底撮影の基礎と手技 第 14 回;眼底撮影装置の構造と眼底画像 第 15 回;まとめテスト</p>				
<p>【テキスト】 毎回の資料は Moodle にアップロードする／基本的に板書は行わない。</p>				
<p>【参考図書】 適宜紹介する。</p>				
<p>【成績評価の方法】 毎回, 授業後に授業内容に関するミニテストを行い, 期末試験と併せて総合的に評価する。</p>				
<p>【受講要件】 機器工学に関する基本的な知識を有していること。</p>				

対面授業(歯学部)				01009	
授業科目名: 痛みの科学			担当教員氏名: 宮脇卓也・他		
Essays on pain					
履修年次 1~4	1 単位	第 2 学期	2 コマ	50 分×2(月曜 1・2 限)	
<p>【授業の目的】 痛みはそれを感じる生体への警告信号であり、誰もが日常生活で経験するものです。しかし、それが過剰で持続すれば生活を困難にする場合も生じます。逆に、生活習慣が痛みの原因になることもあります。本授業では、痛みの種類と発生機序、様々な病態における痛みの特徴、および痛みを制御する方法について理解し、日常生活における痛みと健康との関連について考察することを目的としています。</p>					
<p>【授業内容】 第1回: 痛みの科学概説(1) 第2回: 痛みの科学概説(2) 第3回: 痛みの神経解剖生理学(1) 第4回: 痛みの神経解剖生理学(2) 第5回: 痛みの神経薬理学(1) 第6回: 痛みの神経薬理学(2) 第7回: 痛みの臨床(1) 第8回: 痛みの臨床(2) 第9回: 痛みの臨床(3) 第10回: 痛みの臨床(4) 第11回: 痛みの臨床(5) 第12回: 痛みの臨床(6) 第13回: 痛みの臨床(7) 第14回: 痛みの臨床(8) 第15回: 痛みの科学のまとめ 第16回: 予備日</p>					
<p>【テキスト】 なし</p>					
<p>【参考図書】 特にありません。</p>					
<p>【成績評価の方法】 出席並びにレポート又は小テストによる各担当教員の成績評価を毎回行い、これを集計して総合評価が 60 点以上を合格とします。レポート又は小テストを課すことから、基本的には毎回の出席を合格の条件とします。</p>					
<p>【受講要件】</p>					

対面授業(歯学部)				01010	
授業科目名: 食と栄養の科学			担当教員氏名: 岡元 邦彰・他		
Diet and nutrition					
履修年次 1~4	1 単位	第 4 学期	2 コマ	50 分×2(月曜 3・4 限)	
<p>【授業の目的】 食にまつわる基礎的知識から始まり、食中毒予防や健康食品情報など生活に即した問題、そして地域規模の食糧問題に至るまで、幅広い題材を使って講義と討論を重ねる。 正解が常に存在するわけではないが、それでも自分で考え続ける習慣を涵養する。</p>					
<p>【授業内容】 第1回(12月7日): 岡元邦彰(歯科薬理学): 食と薬剤、食物アレルギー 第2回(12月14日): 堀江謙吾(口腔生理学): 現代の食の問題、食の生理 第3回(12月21日): 河田かずみ(口腔生化学): 三大栄養素の科学、微量栄養素の科学 第4回(1月12日): 山中玲子(予防歯科学): 健康食品、歯を守る食品 第5回(1月18日): 野島靖子(スペシャルニーズ歯科): 咀嚼の科学、嚥下の科学 第6回(1月25日): 丸山貴之(予防歯科学): 食中毒、寄生虫 第7回(2月1日): 園井教裕(医療教育センター): 多職種で支えるフレイル, サルコペニア対策: 第8回(2月8日): 園井教裕(医療教育センター): 口腔機能と栄養(オンデマンド授業)</p>					
<p>【テキスト】 該当なし</p>					
<p>【参考図書】 基本的に資料は配布しない。一部講師は moodle にて資料を配布する場合がある。</p>					
<p>【成績評価の方法】 主にレポート(小テスト)の内容を重視します。 ・本講義はオムニバス形式の講義です。 ・各回、各担当教員が出席、レポート(小テスト)を基に成績評価します。 ・全8回分の平均(公欠除く)を総合成績とします。 ・各回の欠席は0点となります。 ・全講義の 3/4 の出席が必須です(3 回以上の欠席で不可,公欠含む)。</p>					
<p>【受講要件】 特になし</p>					

対面授業(工学部)				01011
授業科目名: 先端半導体テクノロジー入門			担当教員氏名: 高橋 和・紀和 利彦・ 鶴田 健二	
Introduction to advanced semiconductor technology				
履修年次 1~4	1 単位	夏季集中	2 日間	8 月 7 日(金) 8:40~17:20 8 月 10 日(月) 8:40~17:20
<p>【授業の目的】 AI・EV 普及を支える半導体産業は、2033 年世界市場 200 兆円を超える市場へ成長する見通しで、日本国も 6,000 億円以上の巨額予算を投資する最重要分野に選定されています。皆さんが卒業する頃、“半導体テクノロジー”は市場価値の高い人材に必須の知識になっています。本授業では、企業の現役研究者をゲスト講師として迎え、このテクノロジーを支える技術と応用の状況と共に、どのように各種産業と連関して成り立っているのかを講述し、ひいては、受講者が高年次で履修する専門科目と社会との関係性を理解する上で必須の素養を提供します。</p> <p>(一般目標) ・次世代半導体テクノロジーが社会でどのように活用されているかを理解できる。 ・次世代半導体テクノロジーの基礎を構成する技術について理解できる。 ・次世代半導体テクノロジーの産業構造とビジネスについて理解できる。</p> <p>(個別目標) (1) 各種半導体デバイスの応用・製造プロセスを理解する。 (2) 半導体製造装置・素材を理解する。 (3) 半導体サプライチェーン・バリューチェーンを理解する。 (4) 半導体ビジネスについて理解する。</p>				
<p>【授業内容】 1 スマホはどうやって動いてる? ~イントロダクション~ 2 新幹線や EV を動かしているものは??? ~パワーエレクトロニクス~ 3 "ウエハ"のトリセツ ~半導体の"作り方"~ 4 半導体を“使える”ようにする技術 5 日本人ノーベル賞受賞者が牽引した光半導体とビジネス応用 6 日本の"勝ち筋"は? ~半導体産業を支える日本の強み~ 7 身近にある半導体デバイスの原理を知る ~成長を続ける半導体を産業と経済から考える~ 8 半導体の最先端とは何か? 製造業で働くとは?</p>				
<p>【テキスト】 資料を PDF ファイル等で配布する。</p>				
<p>【参考図書】 特になし</p>				
<p>【成績評価の方法】 レポート(100%)</p>				
<p>【受講要件】 特になし</p>				

対面授業(農学部)				01012																									
授業科目名: 農場体験実習			担当教員氏名: 福田 文夫																										
Experience of Farm Practice																													
履修年次 1~4	1 単位	夏季集中	3 日間	9 月 28 日(月)~9 月 30 日(水)																									
<p>【授業の目的】 農学部附属山陽圏フィールド科学センターにおいて、実際の農場での作業や運営に参画し、土や作物、家畜に触れて、農業の面白さや奥深さについて理解を深める。</p>																													
<p>【授業内容】 1. 受講を希望する学生は事前に担当教員(ffukuda@(@以下は okayama-u.ac.jp))に直接メールにて問い合わせ下さい(希望人数によっては抽選になります)。 7 月 31 日(金)17:00 より、農学部第 3 講義室においてオリエンテーションを行い、履修の確認と注意事項を説明します。</p> <p>2. フィールド科学センターにおいて、夏期休暇の3日間(9 月 28、29、30 日)、以下のような要領で実習を行います(一部、農学部 2 年生と共に実習)。 1) 野菜部門(岡山農場)、果樹部門(岡山農場)、水田部門(岡山農場)、畜産部門(津高牧場)において、教員・技術職員とともに作業を行い、農業技術の体系を習得して、その必要性、合理性を理解するとともに、農業の面白さや奥深さを感じてもらう。 2) 実習日程(詳細については、天候などの条件他で、時間帯を含め変更となる可能性がある)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">9 月 28 日(月)</th> <th style="text-align: center;">9 月 29 日(火)</th> <th style="text-align: center;">9 月 30 日(水)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10:30-11:45 センター紹介</td> <td>9:00-10:15 果樹園管理 1</td> <td>9:00- 9:30 移動(津高牧場)</td> </tr> <tr> <td>11:45-13:15 昼食(生協等)</td> <td>10:30-11:45 畑雑草の管理</td> <td>9:45-10:45 草地の管理</td> </tr> <tr> <td>13:15-15:00 水田の管理</td> <td>11:45-13:15 昼食(生協等)</td> <td>11:00-12:00 和牛の管理</td> </tr> <tr> <td>15:15-17:00 野菜の管理1</td> <td>13:15-15:00 ブドウの収穫</td> <td>12:00-12:30 移動(岡山農場)</td> </tr> <tr> <td>17:00 解散</td> <td>15:15-16:00 果樹園管理 2</td> <td>12:30-14:00 昼食(生協等)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>16:00-17:00 ブドウの評価</td> <td>14:00-16:00 野菜の管理2</td> </tr> <tr> <td></td> <td>17:00 解散</td> <td>16:00-16:30 着替え、解散</td> </tr> </tbody> </table> <p>3) 終了後、指示されたレポートは、Moodle にて担当教員へ提出する。</p>						9 月 28 日(月)	9 月 29 日(火)	9 月 30 日(水)	10:30-11:45 センター紹介	9:00-10:15 果樹園管理 1	9:00- 9:30 移動(津高牧場)	11:45-13:15 昼食(生協等)	10:30-11:45 畑雑草の管理	9:45-10:45 草地の管理	13:15-15:00 水田の管理	11:45-13:15 昼食(生協等)	11:00-12:00 和牛の管理	15:15-17:00 野菜の管理1	13:15-15:00 ブドウの収穫	12:00-12:30 移動(岡山農場)	17:00 解散	15:15-16:00 果樹園管理 2	12:30-14:00 昼食(生協等)		16:00-17:00 ブドウの評価	14:00-16:00 野菜の管理2		17:00 解散	16:00-16:30 着替え、解散
9 月 28 日(月)	9 月 29 日(火)	9 月 30 日(水)																											
10:30-11:45 センター紹介	9:00-10:15 果樹園管理 1	9:00- 9:30 移動(津高牧場)																											
11:45-13:15 昼食(生協等)	10:30-11:45 畑雑草の管理	9:45-10:45 草地の管理																											
13:15-15:00 水田の管理	11:45-13:15 昼食(生協等)	11:00-12:00 和牛の管理																											
15:15-17:00 野菜の管理1	13:15-15:00 ブドウの収穫	12:00-12:30 移動(岡山農場)																											
17:00 解散	15:15-16:00 果樹園管理 2	12:30-14:00 昼食(生協等)																											
	16:00-17:00 ブドウの評価	14:00-16:00 野菜の管理2																											
	17:00 解散	16:00-16:30 着替え、解散																											
<p>【テキスト】 特に使用せず、実習内容の説明にプリント・プロジェクター等を適宜用いる。</p>																													
<p>【参考図書】 応用植物科学栽培実習マニュアル、森源治郎ほか監修、養賢堂、東京(2000)ISBN4-8425-0058-1</p>																													
<p>【成績評価の方法】 出席と実習に対する取り組み態度及びレポートの内容を重視して評価する。</p>																													
<p>【受講要件】 学研災加入を履修の条件とする。</p>																													

対面授業(グローバル・ディスカバリー・プログラム)				01013	
授業科目名: Introductory Mathematics I			担当教員氏名: Md. Azhar Uddin		
Introductory Mathematics I			※英語による授業		
履修年次 1~4	1 単位	第 3 学期	1 コマ	50 分×2(月曜 7・8 限)	
<p>【授業の目的】 This subject is designed for students who enter university without a strong background in mathematics. This course is an introductory mathematics course which will cover basic skills in numeracy, algebra, linear function and graphing. The course aims to provide a sound foundation in basic mathematical skills and an introduction to their application to problem solving.</p>					
<p>【授業内容】 1. Algebra of factorials and quadratic functions 2. Exponents and logarithms 3. Polynomials 4. Trigonometric functions 5. Graphical methods 6. Sequences and series 7. Binomial expansion 8. Final examination</p> <p>完全に英語による授業</p>					
<p>【テキスト】 N/A</p>					
<p>【参考図書】 Lecture PowerPoint file and reference books in pdf will be uploaded to Moodle.</p>					
<p>【成績評価の方法】 Regular attendance. Exercises and final test are combined for grading.</p>					
<p>【受講要件】 N/A</p>					

対面授業(グローバル・ディスカバリー・プログラム)				01014	
授業科目名: Introductory Mathematics II			担当教員氏名: 唐 健		
Introductory Mathematics II			※英語による授業		
履修年次 1~4	1 単位	第 4 学期	1 コマ	50 分×2(月曜 7・8 限)	
<p>【授業の目的】 In this course, we teach mathematics on trigonometry, vectors, sequences, calculus, and statistics. With these mathematics, you can pursue college-level learning on mathematics.</p>					
<p>【授業内容】 1. Further trigonometry 2. Vectors 3. Sequences 4. Differentiation 5. Integration 6. Statistical data 7. Probability 8. Final examination</p> <p>完全に英語による授業</p>					
<p>【テキスト】 N/A</p>					
<p>【参考図書】 Lecture powerpoint file and reference books in pdf will be uploaded to Moodle.</p>					
<p>【成績評価の方法】 Exercises on Moodle are necessary after every class. Exercises and final test are combined for grading.</p>					
<p>【受講要件】 N/A</p>					

対面授業(全学共通科目)				01015	
授業科目名: 中国語中級			担当教員氏名: 孫 路易		
Intermediate Chinese					
履修年次 1~4	1 単位	第 1 学期	2 コマ	50 分×2(火曜 3・4 限)	
【授業の目的】 1,新たな外国語の習得 2,知的能力の涵養 3,異文化理解を通じた人間形成					
【授業の内容】 第 1 学期 第 1 回:授業内容の概説等と第一課「旧友重逢」(前半) 第 2 回:第一課「旧友重逢」(後半) 第 3 回:第二課「作客」(前半) 第 4 回:第二課「作客」(後半) 第 5 回:第三課「中国菜」(前半) 第 6 回:第三課「中国菜」(後半) 第 7 回:第四課「大手饅頭」 第 8 回:まとめと試験					
【テキスト】 『システムティック中国語<中級>』(孫路易等、本体 2500 円+税、郁文堂、ISBN 978-4-261-01864-6)					
【参考図書】 授業中で紹介する。					
【成績評価の方法】 出席 20%、授業参加 20%、期末試験 60%					
【受講要件】 中国語初級履修経験者 担当教員からの履修許可があれば 1 年生も履修可					

対面授業(全学共通科目)				01016	
授業科目名: 中国語中級			担当教員氏名: 孫 路易		
Intermediate Chinese					
履修年次 1~4	1 単位	第 2 学期	2 コマ	50 分×2(火曜 3・4 限)	
【授業の目的】 1,新たな外国語の習得 2,知的能力の涵養 3,異文化理解を通じた人間形成					
【授業の内容】 第 2 学期 第 1 回: 第五課「中国的名特産」(前半) 第 2 回: 第五課「中国的名特産」(後半) 第 3 回: 第六課「茶食」(前半) 第 4 回: 第六課「茶食」(後半) 第 5 回: 第七課「告辞」(前半) 第 6 回: 第七課「告辞」(後半) 第 7 回: 第八課「黄山」 第 8 回: まとめと試験					
【テキスト】 『システムティック中国語<中級>』(孫路易等、本体 2500 円+税、郁文堂、ISBN 978-4-261-01864-6)					
【参考図書】 授業中で紹介する。					
【成績評価の方法】 出席 20%、授業参加 20%、期末試験 60%					
【受講要件】 中国語初級履修経験者 担当教員からの履修許可があれば 1 年生も履修可					

対面授業(全学共通科目)				01017	
授業科目名: 中国語中級			担当教員氏名: 孫 路易		
Intermediate Chinese					
履修年次 1~4	1 単位	第 3 学期	2 コマ	50 分×2(火曜 3・4 限)	
【授業の目的】 1.新たな外国語の習得 2.知的能力の涵養 3.異文化理解を通じた人間形成					
【授業の内容】 第 3 学期 第 1 回:第九課「坐卧铺去」(前半) 第 2 回:第九課「坐卧铺去」(後半) 第 3 回:第十課「大観園」(前半) 第 4 回:第十課「大観園」(後半) 第 5 回:第十一課「中国園林」(前半) 第 6 回:第十一課「中国園林」(後半) 第 7 回:映画鑑賞 第 8 回:まとめと試験					
【テキスト】 『システムティック中国語<中級>』(孫路易等、本体 2500 円+税、郁文堂、ISBN 978-4-261-01864-6)					
【参考図書】 授業中で紹介する。					
【成績評価の方法】 出席 20%、授業参加 20%、期末試験 60%					
【受講要件】 中国語初級履修経験者 担当教員からの履修許可があれば 1 年生も履修可					

対面授業(全学共通科目)				01018	
授業科目名: 中国語中級			担当教員氏名: 孫 路易		
Intermediate Chinese					
履修年次 1~4	1 単位	第 4 学期	2 コマ	50 分×2(火曜 3・4 限)	
【授業の目的】 1,新たな外国語の習得 2,知的能力の涵養 3,異文化理解を通じた人間形成					
【授業の内容】 第 4 学期 第 1 回:第十二課「茶壺」(前半) 第 2 回:第十二課「茶壺」(後半) 第 3 回:第十三課「成語」(前半) 第 4 回:第十三課「成語」(後半) 第 5 回:第十四課「対聯」(前半) 第 6 回:第十四課「対聯」(後半) 第 7 回:映画鑑賞 第 8 回:まとめと試験					
【テキスト】 『システムティック中国語<中級>』(孫路易等、本体 2500 円+税、郁文堂、ISBN 978-4-261-01864-6)					
【参考図書】 授業中で紹介する。					
【成績評価の方法】 出席 20%、授業参加 20%、期末試験 60%					
【受講要件】 中国語初級履修経験者 担当教員からの履修許可があれば 1 年生も履修可					

対面授業(全学共通科目)				01019
授業科目名: 生命保険を考える			担当教員氏名: 山本 一輝	
Overview of the Life Insurance Business in Japan				
履修年次 1~4	1単位	第1学期	2コマ	50分×2(月曜5・6限)
<p>【授業の目的】 生活の様々な局面で関わりあう生命保険の仕組みや役割、さらに、生命保険会社の基本的な業務等、これからの持続可能な社会生活を営んでいく上での役に立つ知識の習得や目標達成を通じた生活設計、生活上のリスク管理能力の習得・向上</p>				
<p>【授業内容】 ○社会保障問題を背景に、今後一層必要性が高まるであろう生命保険、さらに生命保険会社の組織や基本的な業務について幅広く学習(下記) 1. 社会保障制度の概要,生活設計とリスク管理 2. 生命保険の基礎的な知識,生命保険の歴史・役割 3. 生命保険契約の基本, 消費者保護や利便性向上の取組 4. 生命保険会社の組織・業務・社会的役割 等</p> <p>○また実践的な作業も実施(下記) 1. 生命保険契約における保険料の算出根拠 2. 必要保障額の算出</p>				
<p>【テキスト】 ・授業レジュメを資料配布する。 ・字幕のないDVDを使用することがあります。</p>				
<p>【参考図書】 書名: 図説生命保険ビジネス第2版 著者名: 山本祥司/川野眞一郎、他 出版社: 一般社団法人金融財政事情研究会 出版年度: 2022</p>				
<p>【成績評価の方法】 授業時の受講カード(アンケート、理解確認テスト、レポート等)提出による授業寄与度(概ね40点程度)、および期末試験(穴埋め問題、記述問題)(概ね60点程度)を総合的に評価する。</p>				
<p>【受講要件】 特になし</p>				

対面授業(全学共通科目)				01020
授業科目名: 生命保険を考える			担当教員氏名: 山本 一輝	
Overview of the Life Insurance Business in Japan				
履修年次 1~4	1単位	第2学期	2コマ	50分×2(月曜7・8限)
<p>【授業の目的】 生活の様々な局面で関わりあう生命保険の仕組みや役割、さらに、生命保険会社の基本的な業務等、これからの持続可能な社会生活を営んでいく上での役に立つ知識の習得や目標達成を通じた生活設計、生活上のリスク管理能力の習得・向上</p>				
<p>【授業内容】 ○社会保障問題を背景に、今後一層必要性が高まるであろう生命保険、さらに生命保険会社の組織や基本的な業務について幅広く学習。(下記参照) 1. 社会保障制度の概要 2. 生命保険の基礎的な知識,生命保険の果たす役割 3. 生命保険契約のしくみ 4. 生命保険会社の組織・業務 等</p> <p>○また実践的な作業も実施。(下記参照) 1. 生命保険契約における保険料の算出 2. 必要保障額の算出</p>				
<p>【テキスト】 ・授業レジュメを資料配布する。 ・字幕のないDVDを使用することがあります。</p>				
<p>【参考図書】 書名: 図説生命保険ビジネス第2版 著者名: 山本祥司/川野真一郎、他 出版社: 一般社団法人金融財政事情研究会 出版年度: 2022</p>				
<p>【成績評価の方法】 授業時の受講カード(アンケート、理解確認テスト、レポート等)提出による授業寄与度(概ね40点程度)、および期末試験(穴埋め問題、記述問題)(概ね60点程度)を総合的に評価する。</p>				
<p>【受講要件】 特になし</p>				

対面授業(全学共通科目)			01021	
授業科目名: ”アタリマエ”の科学 ～スマホに映る半導体と社会～			担当教員氏名: 宮崎 悟	
Science in smartphones and society with semiconductors, none of which are taken for granted.				
履修年次 1～4	1 単位	夏季集中	1 時限: 50 分 として 計 16 時限	第 1 回 9/8(火)8:40-15:15(6 時限) 第 2 回 9/9(水)8:40-15:15(6 時限) 第 3 回 9/10(木)8:40-12:35(4 時限)
<p>【授業の目的】 私たちが日常アタリマエ(当然)のように使っているスマートフォン。実はそのアタリマエは、半導体を含むたくさんの技術や知見といったエンジニアリング(工学)が社会的に長い年月をかけて蓄積されてきた成果です。しかし、もしかしたらそれがアタリマエではなくなるかも、あるいはアタリマエではないかもしれません。この授業では、アタリマエとしてのエンジニアリングをどのように理解し、理解した上でそれが正しいのか、正しくないのか、こうすれば正しくなるのか、どのように社会とつながっているのか、といった科学的論理思考の素養を学習することを目的に、講義と実践(社会見学やグループディスカッション・プレゼンテーション)を行います。</p> <p>私たちの日常は科学(サイエンス)に溢れています。身近なサイエンスというものを適切に理解し、尊敬(リスペクト)しつつも、時にそれを疑い(サスペクト)、よりよいサイエンスを創り出すことが重要です。そして、サイエンスを取り巻く社会環境までも把握し理解することも重要です。この授業では、サイエンスのリスペクト&サスペクト、そして社会実装を実践的に学び、これからの学生生活をより知的で有意義なものとするという存在意義があります。</p>				
<p>【授業内容】 授業は 2026 年 9 月に行う予定です。 実習と工場見学の内容について、少し変更になる可能性もあるので、随時情報を update いたします。</p> <p>【第 1 回】 9/8 講義・実習 1 時限目(8:40-9:30)講義「アタリマエの科学」 はじめにみなさんと Ice Breaking を行います。その後、科学とイノベーションについてお話しします。 2 時限目(9:40-10:30)講義「半導体をざっくり知る」by ゲスト講師 半導体メーカーの方をゲスト講師にお招きし、半導体はどのような原理で動いていて、どのように構成され、どのように製品化され、どのように社会実装されているか、などをお話しいたします。 3・4 時限目(10:45-12:35) 実習「スマホを分解してみよう」 グループで実際にスマホを分解してみましょう。2 時限目で説明したことを身をもって体験していただきます。 5 時限目(13:25-14:15) 講義「半導体の作り方」by ゲスト講師 翌日工場見学に行きます半導体企業のゲスト講師をお招きし、半導体がどのようにして作られるのかを説明いただきます。工場見学に向けての準備運動です。 6 時限目(14:25-15:15) 実習「内省とテーマ設定」by ゲスト講師 半導体工場においてアタリマエだけアタリマエでない現場の課題を説明いただきます。その課題について、自分ならどのように捉えるかといった翌日の工場見学に向けてのテーマ設定をしていただきます。もちろん、これ以外にご自身でテーマを設定いただいても OK です。テーマ設定のお手伝いはしますので安心して臨んでください。</p>				

【第2回】9/9 工場見学・ワークショップ

1 時限目(8:40-9:30) 工場へ移動

工場見学先に移動します。

移動手段の費用は学生負担となる可能性もありますが、そんなに高くありません。改めてご連絡いたします。

2・3・4 時限目(9:40-12:35) 工場見学

半導体の製造現場をグループで見学します。昨日設定したテーマで、しっかりと色々なものを見て聞いて知ってください。

5・6 時限目(13:25-15:15) ワークショップ@工場

自分で設定したテーマについて、実際にどうだったか、自分はどう考えるかといったことを内省し、明日のプレゼンテーションと最終考課に向けての準備をします。グループ単位、もちろん個人単位でも OK です。色々な人と議論してください。工場の方々も同席されますので、色々なことを質問攻めにしてもらって結構です。

【第3回】9/10 プレゼンテーション・最終考課

1・2 時限目(8:40-10:30) プレゼンテーション

みなさんお一人ずつ、自分で設定したテーマに対する考えをプレゼンテーション(パワーポイント)していただきます。ゲスト講師の方々もオンラインで参加される予定ですので、色々な方々からの質問に答えてください。

設定したテーマの内容、プレゼン、質疑応答を評価します。

3・4 時限目(10:45-12:35) 最終考課

最終考課を行います。ノート PC をご用意ください。持っていない方は担当教員までご連絡ください。

【テキスト】

なし

【参考図書】

なし

【成績評価の方法】

概ね、以下の項目と配分で評価します。

出席率:10%

受講態度:10%

主体積極性:20%

レポート・プレゼンテーション:60%

【受講要件】

特になし

対面授業(全学共通科目)				01022
授業科目名: 韓国語中級			担当教員氏名: 陳 南澤	
Intermediate Korean				
履修年次 1~4	1 単位	第 1 学期	2 コマ	50 分×2(火曜 5・6 限)
<p>【授業の目的】 韓国語の総合的学習(より多様な表現を学び、作文などを行う)と、韓国文化に関する理解を深める。 韓国語で簡単な意思表示ができ、易しい韓国語文書を書けること。 韓国語能力試験 2級合格を目指す。</p>				
<p>【授業内容】 第 1~7回 :プリントによる韓国語の文型や単語の習得: 第8回 : 最終試験</p>				
<p>【テキスト】 プリント</p>				
<p>【参考図書】</p>				
<p>【成績評価の方法】 期末試験(60%)、小テスト・授業への取り組み・出席状況(40%)で、総合的に評価する。</p>				
<p>【受講要件】 各大学において初級程度の韓国語を通年履修しているか、それに相当する韓国語力を有すると授業担当教員が認めた者について履修を許可します。 履修希望者は、「単位互換履修科目履修願」に韓国語学習歴を記載した文書(様式は問いません。)を添えて提出してください。 1 学期と 2 学期をセットで受講することが望ましい。</p>				

対面授業(全学共通科目)				01023
授業科目名: 韓国語中級			担当教員氏名: 陳 南澤	
Intermediate Korean				
履修年次 1~4	1 単位	第 2 学期	2 コマ	50 分×2(火曜 5・6 限)
<p>【授業の目的】 韓国語の総合的学習(より多様な表現を学び、作文などを行う)と、韓国文化に関する理解を深める。 韓国語で簡単な意思表示ができ、易しい韓国語文書を書けること。 韓国語能力試験 2級合格を目指す。</p>				
<p>【授業内容】 第 1~7回 :プリントによる韓国語の文型や単語の習得: 第8回 : 最終試験</p>				
<p>【テキスト】 プリント</p>				
<p>【参考図書】</p>				
<p>【成績評価の方法】 期末試験(60%)、小テスト・授業への取り組み・出席状況(40%)で、総合的に評価する。</p>				
<p>【受講要件】 各大学において初級程度の韓国語を通年履修しているか、それに相当する韓国語力を有すると授業担当教員が認めた者について履修を許可します。 履修希望者は、「単位互換履修科目履修願」に韓国語学習歴を記載した文書(様式は問いません。)を添えて提出してください。 1 学期と 2 学期をセットで受講することが望ましい。</p>				

対面授業(全学共通科目)				01024
授業科目名: 韓国語中級			担当教員氏名: 陳 南澤	
Intermediate Korean				
履修年次 1~4	1 単位	第 3 学期	2 コマ	50 分×2(火曜 5・6 限)
<p>【授業の目的】 韓国語の総合的学習(より多様な表現を学び、作文などを行う)と、韓国文化に関する理解を深める。 韓国語で簡単な意思表示ができ、易しい韓国語文書を書けること。 韓国語能力試験 2級合格を目指す。</p>				
<p>【授業内容】 第 1~7回 :プリントによる韓国語の文型や単語の習得: 第8回 : 最終試験</p>				
<p>【テキスト】 プリント</p>				
<p>【参考図書】</p>				
<p>【成績評価の方法】 期末試験(60%)、小テスト・授業への取り組み・出席状況(40%)で、総合的に評価する。</p>				
<p>【受講要件】 各大学において初級程度の韓国語を通年履修しているか、それに相当する韓国語力を有すると授業担当教員が認めた者について履修を許可します。 履修希望者は、「単位互換履修科目履修願」に韓国語学習歴を記載した文書(様式は問いません。)を添えて提出してください。 3 学期と 4 学期をセットで受講することが望ましい。</p>				

対面授業(全学共通科目)				01025
授業科目名: 韓国語中級			担当教員氏名: 陳 南澤	
Intermediate Korean				
履修年次 1~4	1 単位	第 4 学期	2 コマ	50 分×2(火曜 5・6 限)
<p>【授業の目的】 韓国語の総合的学習(より多様な表現を学び、作文などを行う)と、韓国文化に関する理解を深める。 韓国語で簡単な意思表示ができ、易しい韓国語文書を書けること。 韓国語能力試験 2級合格を目指す。</p>				
<p>【授業内容】 第 1~7 回 : プリントによる韓国語の文型や単語の習得: 第 8 回 : 最終試験</p>				
<p>【テキスト】 プリント</p>				
<p>【参考図書】</p>				
<p>【成績評価の方法】 期末試験(60%)、小テスト・授業への取り組み・出席状況(40%)で、総合的に評価する。</p>				
<p>【受講要件】 各大学において初級程度の韓国語を通年履修しているか、それに相当する韓国語力を有すると授業担当教員が認めた者について履修を許可します。 履修希望者は、「単位互換履修科目履修願」に韓国語学習歴を記載した文書(様式は問いません。)を添えて提出してください。 3 学期と 4 学期をセットで受講することが望ましい。</p>				

対面授業(全学共通科目)				01026	
授業科目名: 安全衛生入門			担当教員氏名: 中西 真・寺東 宏明・岩崎 良章・ 崎田 真一・岡本 崇		
Introduction of Safety and Health					
履修年次 1~4	1単位	第1学期	2コマ	50分×2(月曜5・6限)	
<p>【授業の目的】 どのような職種においても仕事における安全衛生管理は必要なものである。その管理は産業医や衛生管理者など多くの専門家によって担われているが、個々の労働者の自覚と対応もまた必須である。本講義の目的は職場の安全衛生管理がどのように維持されているのかについて知ることであり、このことは仕事をする際の自分と周囲の安全と健康を守るために重要である。</p>					
<p>【授業内容】 職場の安全衛生管理は労働者が健康で安全に仕事をする上で必要なものであり、法令でも規定されている。本講義では安全衛生に関する基本的な知識を、各トピックの専門家による講義・演習によって習得することを目的とする。 講師は学内の衛生管理者、放射線取扱主任者、産業医等を招聘し、安全衛生管理の仕組み、化学物質管理、健康管理、放射線安全管理、関連法令等をテーマにする。到達目標は、①安全衛生管理の仕組みについて理解する、②安全衛生管理に関連する法令・規制について理解する、③安全衛生管理に関連する資格について理解する、④日本の労働安全衛生の状況について理解する、⑤職場において安全衛生管理の知識を持って適切な行動が出来る、である。 授業は全8回で、内容は①ガイダンス、日本の労働安全衛生の状況、②作業環境要素、③作業環境管理、④放射線安全管理、⑤化学物質管理、⑥健康管理、⑦安全衛生関連法令、⑧期末試験、である。</p>					
<p>【テキスト】 指定しない。</p>					
<p>【参考図書】 講義中に紹介する。</p>					
<p>【成績評価の方法】 期末試験、講義中の小テスト、レポートの合算で評価する。100点満点で、講義中の小テストやレポートは各10点で回数は未定。期末試験の配点は小テストとレポートの実施回数で変動する。</p>					
<p>【受講要件】 特になし。</p>					

対面授業(全学共通科目)				01027	
授業科目名: 数理・データサイエンスの基礎			担当教員氏名: 羅 明振		
Basic Mathematical and Data Sciences			(定員 10名)		
履修年次 1~4	1 単位	第 3 学期	2 コマ	50 分×2(木曜 3・4 限)	
【授業の目的】 データサイエンスの基盤となる統計および数理の基礎と、データサイエンスの応用事例を修得し、さらに機械学習の概念を学んで、データサイエンスの果たす役割を概観する					
【授業内容】 滋賀大学開発教材(ds-mooc 教材)を活用し、以下の内容を学ぶ <ul style="list-style-type: none"> ● 現実の課題に対するデータサイエンスの役割を理解 ● データの基本的な分析方法を理解し、コンピュータを用いて実践 ● データサイエンスの応用事例を知り、機械学習の概要や基礎を理解 なお、PC を用いた確認テストや課題作成等を実施するので、用意して授業に臨むこと			授業計画: <ol style="list-style-type: none"> 1. 現代社会におけるデータサイエンス(1) 2. データ分析の基礎(1) 3. コンピュータを用いたデータ分析 4. データ分析の基礎(2), 現代社会におけるデータサイエンス(2) 5. 機械学習の基礎, 機械学習の事例紹介 6. 機械学習の発展(ニューラルネットワーク) 7. 政治学におけるデータ活用 (計画の順番が前後することがある)		
【テキスト】 “大学生のためのデータサイエンス(I)オフィシャルスタディノート改訂版”, “大学生のためのデータサイエンス(II)【機械学習】 オフィシャルスタディノート”, 日本統計協会(滋賀大学データサイエンス学部編)					
【参考図書】 なし					
【成績評価の方法】 滋賀大学開発教材による確認テスト、岡大 Moodle による小テスト、ならびに講義内容に関する演習課題の提出(評価)にて、総合的に評価する。					
【受講要件】 なし					

対面授業(全学共通科目)				01028
授業科目名: 健康・スポーツ科学 C			担当教員氏名: 鈴木 久雄	
Health and Sports Sciences				
履修年次 1~4	1 単位	通年	1 コマ	水曜 18:30~20:20
【授業の目的】 科学的な視点から運動やスポーツ、健康について学び、スポーツ実践や健康づくりに役立てる。 また、個々人が自ら設定した課題を探究し、理論と実践の融合をはかる。				
【授業内容】 I. オリエンテーション 4 月 15 日(水)18:30~オリエンテーション(岡山大学一般教育棟 D 棟 1 階スポーツ支援室にて) II. 講義 場所は岡山大学一般教育棟 E 棟 E11 教室 1) 4 月 22 日(水)これであなたもエキスパート!? スポーツ外傷・傷害の ABC 2) 5 月 20 日(水)暑さ対策 3) 6 月 24 日(水)メディア & テクノロジーの発達とスポーツの変化 4) 7 月 22 日(水)スポーツと心臓 5) 10 月 21 日(水)スポーツと栄養~パフォーマンス向上のための食べ方~ 6) 11 月 11 日(水)スポーツ歯学 7) 12 月 16 日(水)スポーツと法 III. まとめ(ディスカッション) 12 月 16 日(水)講座後にまとめを行う(岡山大学一般教育棟 D 棟 1 階スポーツ支援室にて)				
【テキスト】 テキストは使用しない。毎回、資料およびレポート用紙を配布する。				
【参考図書】 特になし				
【成績評価の方法】 講義レポート 80%、ディスカッション 20%より評価する。				
【受講要件】 特になし				

令和8年度 **前期** **第1・2学期** **夏季集中** 開講科目用

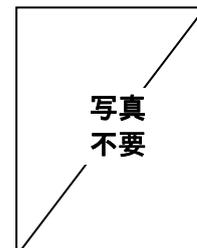
大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

所属大学の 受付番号	
受入大学の 受付番号	

* 学生は太枠内のみ記入

岡山大学長 殿

提出日	年	月	日
ふりがな			
氏名			



この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

所属大学等	大学				
学部・学科・学年	学部		学科	年	
(所属大学) 学生番号	性別	生年 月日	西暦 年		
			昭和・平成 年 月 日		
現住所	〒		Tel () -		
メールアドレス	@				

※なるべく所属大学で付与されているメールアドレスをご記入ください。

* 履修受付締切日：前期・第1～2学期・夏季集中：4月1日(水)15時まで

* 区分(教養/専門)：開講大学の区分を示しています。受講生の所属大学における区分については、申込みの際に所属大学で確認してください。

No	授業科目	区分	担当教員	単位	開講期	配当学年	備考	曜日・時限	履修希望	評価
遠隔授業科目										
01101	人文学概説(美学a)	専門	川野 恵子	1	第1学期	2~4	オンライン	火 10:45~12:35		
01102	人文学概説(美学b)	専門	川野 恵子	1	第2学期	2~4	オンライン	火 10:45~12:35		
01104	人文学概説(西洋美術史a)	専門	龍野 有子	1	第1学期	2~4	オンデマンド	木 13:25~15:15		
01105	人文学概説(西洋美術史b)	専門	龍野 有子	1	第2学期	2~4	オンデマンド 「人文学概説(西洋美術史a)」を受講済みであること	木 13:25~15:15		
01109	キャンパスライフ不 適応への対策講座	教養	原田 新 池谷 航介	1	第2学期	1~4	オンデマンド ●特に大学1年生で、入学後に大学生活の様々な面で困り感を抱えている方や大学生活に上手く馴染めていないという方を歓迎	受講の曜日や時間は学生の任意		

No	授業科目	区分	担当教員	単位	開講期	配当学年	備考	曜日・時限	履修希望	評価
対面授業科目										
01001	人文学概説(哲学1)	専門	植村 玄輝	2	第1学期	2~4		金 10:45~15:15		
01002	中等社会科・公民科指導法IA	専門	桑原 敏典	1	第2学期	2~4	「中等社会科・公民科指導法基礎A」を履修しておくことが望ましい	火 15:30~17:20		
01007	基礎生物学1a	専門	齊藤 恭紀	1	第1学期	1~4		火 8:40~10:30		
01008	医用画像検査機器工学	専門	木田 勝博	1	第1学期	3	定員5名	金 10:45~12:35		
01009	痛みの科学	専門	宮脇 卓也 他	1	第2学期	1~4		月 8:40~10:30		
01015	中国語中級	教養	孫 路易	1	第1学期	1~4		火 10:45~12:35		
01016	中国語中級	教養	孫 路易	1	第2学期	1~4		火 10:45~12:35		
01019	生命保険を考える	教養	山本 一輝	1	第1学期	1~4		月 13:25~15:15		
01020	生命保険を考える	教養	山本 一輝	1	第2学期	1~4		月 15:30~17:20		
01022	韓国語中級	教養	陳 南澤	1	第1学期	1~4	第1学期と第2学期を併せて受講することが望ましい	火 13:25~15:15		
01023	韓国語中級	教養	陳 南澤	1	第2学期	1~4		火 13:25~15:15		
01026	安全衛生入門	教養	中西 真 他	1	第1学期	1~4		月 13:25~15:15		
01028	健康・スポーツ科学C	教養	鈴木 久雄	1	第1~4学期 またがり	1~4		水 18:30~20:20		
01011	先端半導体テクノロジー入門	専門	高橋 和利彦 鶴田 健二	1	夏季集中	1~4		8/7(金) 8:40~17:20 8/10(月) 8:40~17:20 (計16時間)		
01012	農場体験実習	専門	福田 文夫	1	夏季集中	1~4	場所:岡山大学農学部山陽圏フィールド科学センター 定員:15名程度 ●学研災加入を履修の条件とする	9/28(月)~9/30(水) (3日間)		
01021	”アタリマエ”の科学 ～スマホに映る半導体と社会～	教養	宮崎 悟	1	夏季集中	1~4	第2回は学外(工場見学)	第1回 9/8 8:40~15:15 (計6時限) 第2回 9/9 8:40~15:15 (計6時限) 第3回 9/10 8:40~12:35 (計4時限)		

写真提出枚数 (カラー、4cm×3cm、裏面に大学名・氏名を記入する)	身分証明書用	学生原簿用	計
	0枚	0枚	0枚

令和8年度 後期 第3・4学期 開講科目用

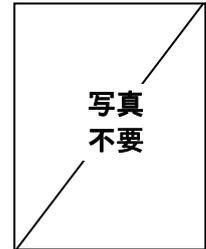
大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

所属大学の 受付番号	
受入大学の 受付番号	

* 学生は太枠内のみ記入

岡山大学長 殿

提出日	年	月	日
ふりがな			
氏 名			



この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

所属大学等	大学			
学部・学科・学年	学部	学科	年	
(所属大学) 学生番号	性別	生年 月 日	西暦	年
	男・女・その他		昭和・平成	年
現住所	〒 _____ Tel (_____) _____			
メールアドレス	_____ @ _____			

※なるべく所属大学で付与されているメールアドレスをご記入ください。

* 履修受付締切日： 後期・第3～4学期：9月17日(木)15時まで

* 区分(教養/専門)： 開講大学の区分を示しています。受講生の所属大学における区分については、申込みの際に所属大学で確認してください。

No	授業科目	区分	担当教員	単位	開講期	配当学年	備考	曜日・時限	履修希望	評価
遠隔授業科目										
01103	人文学概説(倫理学2b)	専門	本村 昌文	1	第4学期	2～4	対面とのハイブリッド	月 15:30～17:20		
01106	人文学講義(西洋美術史a)	専門	龍野 有子	1	第3学期	2～4	オンデマンド 「人文学概説(西洋美術史a)」、「人文学概説(西洋美術史b)」を受講済みであること	木 13:25～15:15		
01107	人文学講義(西洋美術史b)	専門	龍野 有子	1	第4学期	2～4	オンデマンド 「人文学概説(西洋美術史a)」、「人文学概説(西洋美術史b)」、「人文学講義(西洋美術史a)」を受講済みであること	木 13:25～15:15		
01108	セキュリティ概論	専門	野上 保之 福島 行信 五百旗頭 健吾 小寺 雄太 三浦 秀芳	2	第3 第4学期	3～4	ハイブリッド授業	月 15:30～17:20		

No	授業科目	区分	担当教員	単位	開講期	配当学年	備考	曜日・時限	履修希望	評価
対面授業科目										
01003	中等社会科・公民科指導法ⅡA	専門	桑原 敏典	1	第4学期	2～4	「中等社会科・公民科指導法ⅠA」を履修しておくことが望ましい	火 15:30～17:20		
01004	GCED(グローバルシティズンシップ教育)Ⅰ	専門	桑原 敏典	1	第3学期	2～4	教員免許取得を目指していることが望ましい	月 8:40～10:30		
01005	中等社会科・公民科指導法基礎A	専門	桑原 敏典	1	第4学期	1～4	教員免許取得を目指していることが望ましい	火 10:45～12:35		
01006	法哲学	専門	大森 秀臣	1	第3学期	3～4		金 10:45～12:35		
01010	食と栄養の科学	専門	岡元 邦彰 他	1	第4学期	1～4		月 10:45～12:35		
01013	Introductory Mathematics I	専門	UDDIN MD. AZHAR	1	第3学期	1～4	※英語による授業	月 15:30～17:20		
01014	Introductory Mathematics II	専門	唐 健	1	第4学期	1～4	※英語による授業	月 15:30～17:20		
01017	中国語中級	教養	孫 路易	1	第3学期	1～4		火 10:45～12:35		
01018	中国語中級	教養	孫 路易	1	第4学期	1～4		火 10:45～12:35		
01024	韓国語中級	教養	陳 南澤	1	第3学期	1～4	第3学期と第4学期を併せて受講することが望ましい	火 13:25～15:15		
01025	韓国語中級	教養	陳 南澤	1	第4学期	1～4		火 13:25～15:15		
01027	数理・データサイエンスの基礎	教養	羅 明振	1	第3学期	1～4	定員 10名	木 10:45～12:35		

写真提出枚数 (カラー、4 cm × 3 cm、裏面に大学名・氏名を記入する)	身分証明書用	学生原簿用	計
	0 枚	0 枚	0 枚